柏原市立柏原小学校

かししょう

「深く学ぶ子・ともに生きる子・最後までがんばる子」

令和8年６月11日
柏原市立柏原小学校
No.3

柏原小学校では毎学期、全校で避難訓練を行います。1学期の避難訓練は、不審者が侵入してきたことを想定したものでした。

25年前の6月8日、大阪教育大学附属小学校池田小学校で、不審者侵入により児童、教職員が死傷した事件がありました。全国的に学校安全を見直すことになり、安全監視員さんやインターホンによる入校者確認、来校者の名札着用は当たり前になりました。学校の避難訓練も地震や火事といった災害によるものだけではなく、不審者侵入を想定したものを計画するようになりました。安全であるはずの学校で、あってはならないことを防ぐ手立てを講じながら、命を守る訓練を25年間、続けています。

6月9日には、門別下校を行いました。学校を出て、それぞれの家まで安全に帰る訓練です。同じクラスでも、帰る方向は様々、それぞれが自分の家に、自分の力でたどりつかなければなりません。

「自分の命は自分で守る」一年生は一年生なりに教えてもらっているのでしょう。素早く集合して、静かに待つことができていました。マイクが使えない状況でも、先生の指示が聞けます。指示を聞くことは、命を守る第一歩です。「六年生は、一年生を安心させて！」と先生の声が響きます。自分を守ることができる子は、周りを助けることができます。高学年は、低学年に優しい目を向け、手を差し伸べています。

「自助」「共助」「公助」子どもたちは、学年に応じて学んでいました。

保護者の皆さま、門別下校へのご理解とご協力、ありがとうございました。





来校時には、必ず名札の着用をお願いいたします。
6月13日（土）の参観時には、門を入る前の名札着用にご協力お願いいたします。

学校をきれいにしよう

6月第一週の児童朝礼では、全校で学校の大掃除をしました。これから夏に向けて、草が伸びてきます。その前に少しでも減らしておこうということでしょう。遊具周り、プール付近、体育館裏など、学年ごとに分かれて、草を根っこからきれいに抜いてくれていました。

一年生は石拾い、草アレルギーの子は石拾いです。小さくても、制限があってもできることはあります。配慮を忘れず、児童会が分担を考えてくれていました。

みんなの力できれいになった学校は、少し風通しが良くなったように感じます。







あいさつをしよう

児童朝礼や避難訓練でも話しましたが、明るいあいさつが交わされる学校は、防犯の効果があるそうです。自分の身を守るためだけではなく、気持ちのいいあいさつのできる人に育ってほしいと願っています。児童会でもあいさつ運動に取り組んでくれています。いつもより大きな「おはようございます」の声が聞こえます。スタンプがなくなっても続けてね。




SSS(スクールサポートスタッフ)の山口さんが作ってくれました

保護者の皆さまへ

7月の5年生の林間学校を残し、1学期の校外学習を無事に終えることができました。暑さが厳しかった学年や、台風の進路を気にしながらの学年など、ご心配をおかけしましたが、一つの行事を終え、子どもたちはまたひとまわり、強く大きく成長したようです。
お昼の時間には、自分のために家族が準備してくれたお弁当を嬉しそうに紹介して来てくれました。おいしそうに、嬉しそう、楽しそうにお弁当を食べる子どもたちの姿に、ご家族の愛情がエネルギーになっていることをあらためて実感いたしました。朝早くからお弁当を準備いただき、どうもありがとうございました。

今月から、水泳学習が始まります。学校でも、5月から暑熱順化をはじめ、熱中症予防も考慮した強い身体づくりに努めてまいりましたが、さらに疲れが出やすくなることが予想されます。規則正しい生活が、何よりも強い身体をつくります。栄養バランスのとれた食事と、良質の睡眠を十分とれるよう、どうぞよろしくお願いいたします。